

情熱通信

2025.1月号

明光義塾 情熱空間グループ

ホームページURL

: <https://www.946jp.com/meiko/>

フェイスブックページ

: <https://www.facebook.com/jounetsukukan/>



受験生のみなさんへ

いよいよ受験まであとわずかになってきました。

「生活面」と「筆記対策」と「前日まで・前日・当日に確認すること」の大きく3つに分けて受験に向けて行っていくと良いことや気をつけると良いことをご紹介します！

～生活面で気をつけること～

冬は空気が乾燥しやすい為、風邪やインフルエンザが流行する季節です。コロナウィルス対策も兼ねて、規則正しい生活を心がけましょう。

◎風邪対策…☆手洗い・うがいをきちんと行う

◎食生活の見直し…☆一日三食バランス良くとる

◎生活時間の見直し…☆夜は遅くならないようにし、朝型の生活にする

～筆記対策～

本番までの貴重な時間です。次のことに取り組んでみましょう。

◎時事問題の見直し…☆時事問題の「因果(原因と結果)」を確認する

◎模試の見直し…☆間違えた問題の解説をよく読み、解き直しをする

◎過去問題・予想問題を解く…☆本番と同じ制限時間や時間割で問題を解く

☆覚えていなかった公式や重要項目はすぐに復習する

☆なぜケアレスミスをしてしまったのかを確認し、同じ間違いを繰り返さないようにする



～前日まで・前日・当日に確認すること～

試験当日に力を出し切ることができるように、前日までにしっかり準備をしておきましょう。

◎入試前日まで…☆試験会場への経路、所要時間を確かめる

☆当日の持ち物リストをつくる

☆制服や当日着ていく服を確かめる(ほつれ、しみ、ボタンの有無など)

◎入試前日…☆当日の持ち物を準備する(受験票、筆記用具など)

◎入試当日…☆忘れ物がないか最終確認する

☆身だしなみチェックをする(制服、校章など)



1月スケジュール

12月29日(日)～1月3日(金)まで年末年始休み

1月 4日(土) 月例テスト1月号

1月10日(金) 授業無し・北海道学力コンクール(中3以外)

1月11日(土) 授業無し・北海道学力コンクール(中3のみ)

1月18日(土)・1月19日(日) 大学入学共通テスト

1月18日(土) 月例テスト2月号申込期限

1月20日(月) 定例生徒カウンセリング(～2/1まで)

1月26日(日) 授業無し・中3連続模試①

1月29日(水)～1月31日(金)の3日間は振替授業の為、開室しています



↓過去の情熱通信
はこちらから！



<https://www.946jp.com/meiko/newsletter.html>

除雪

本日、久しぶりの除雪をしてふと思いだしたことがありました。昔の国語の教科書にあった、「最初の雪をわたしはみたい」だったような言葉です。地面に降る雪はそこで地面の熱を奪い水になる。姿形は変われどそこには存在している。

これ、生徒が勉強していることと同じだなあ。と感じました。例えば四則計算。小学生は色々悩み沢山の問題を解かされたものです。ただ、解いて正解した嬉しさ、間違えた悔しさ、そういった熱意は同じ問題を解いても、もう無いでしょう。

熱は失われましたが、知識として姿形は残り、今もこれから先の知恵を支えています。その先に積もる雪は知識の厚み。さて、講師が除雪に困るくらいの積雪ができるように頑張っていきましょう。私は今朝のでへとへとです。 釧路愛国教室 三戸 玲二 TEL 0154-32-7870 千085-0051 釧路市光陽町14-8

輝きの法則

先日、音声プラットフォームのVoicyを聞いていたときに、「輝きの法則～内面を整え、外見を輝かせる心のレッスン～」というものと聞き、ハッとさせられました。内容は、以下のようになります。

心は目に出る。	感情は声に出る。
清潔感は歯に出る。	美しさは姿勢に出る。
自信は歩き方に出る。	生活は体型に出る。
健康は爪に出る。	育ちは食べ方に出る。
性格は字に出る。	教養は話し方に出る。
苦勞は手に出る。	収入は靴に出る。
成功は人脈に出る。	生き方は顔つきに出る。
人生は背中に出る。	優しさは表情に出る。

日々の生活の中で、内面が外見にどのように影響しているのか、改めて意識してみたいと思いました。

釧路春採SC教室 瀬賀 伸貴 TEL 0154-65-6458 千085-0813 釧路市春採7-1-48

受け身

自宅の外階段を降りる際に足を滑らせて段差の角に背部と肘を打ち付けるという怪我を負いました。ここしばらく毎日雪が降り続けていたため、溶けて凍った部分の上に薄く雪が積もっていたようです。感覚・動作的に骨折はしていないと判断して翌日に整骨院に行ったのですが、腰椎は折れやすいから、打ったのが背中側でよかったねと言われました。（医学知識なしに自己判断で動くのはNGですよ、場合により取り返しがつかないので）

しかし、それ以上に印象に残っているのが、右肘でよかったね、手で支えようとしていたら5週間は腕を吊ることになってパソコンでの作業もできなかったよ、という言葉でした。後方に倒れる場合は頭を前に、腕で衝撃を逃がしつつ手は即離す、という身に沁みついた行動に助けられました。皆さんも足元には十分お気を付けください。

当別教室 平山 由香利 TEL 0133-23-2228 千061-0233 石狩郡当別町白樺町163-38 1F

大学受験の思い出

大学入学共通テストが迫っていますね。僕の時代はセンター試験という名前でしたが、当時のことは今でもよく覚えています。

何度も模試を受ける中で、一番安定していたのが国語でした。特に現代文が得意で、試験も毎回現代文から解いていくのをルーティンにしていました。そうして迎えた本番は本当に全くわからず、現代文でほぼすべての時間を費やしてしまう有様。平均点が約102点(200点中)という年でしたが、自己採点で半分もいかずなかなかショックだったのを覚えています。

国語の時間中はかなり焦りましたが、「まあ、それはそれ」と次に切り替えられたのが自分にとっては良かったのだと思います。本番はなんでも起きます。慌てず冷静に、力を最大限発揮できるよう頑張らしましょう！！

釧路鳥取教室 伊東 優希 TEL 0154-65-9933 千084-0907 釧路市鳥取北10-5-22

なぜいじめはなくなるしない

なぜいじめはなくなるしないのか…。不思議なことに、大学生になると小中高であるようないじめはびたりとなくなります。この問題について、大学以外の学校は閉鎖的だからだ、と主張するアメリカの論文があります。日本でも小中高というのはいつも同じクラスに同じ人が集まります。そうしますと、個性の平均化、均質化というのが起き、その例から漏れた人(みんなとは違う個性を持ち続ける人)がいじめの対象になりやすいそうです。一方で大学では人によって受講する授業にばらつきがあるので、毎日同じ人たちと同じ教室にいるわけではありません。個性の平均化…つまりいじめの発生原因そのものが生じづらいわけです。いじめをなくすには、学校制度そのものを変える必要があるということになりますが、しかし、このように客観的に見ても、いじめというのはつくづく馬鹿げたもののように思われます。 中標津教室 堀 正太 TEL 0153-74-0900 千086-1007 標津郡中標津町東七条南7-8 2F

文章読解力と速読（下）

前号の続きです。受験界で言われるところの当然のテクニック。国語の長文問題。まず先に設問を読む。「文章をていねいに読む。それから問題に取り組む。」学校ではそう指導されることが多いようですが、受験界ではNGです。設問を先に読み、出題が何を問うているのかを明確にしてから文章を読むべし。しかし、文章量が格段に増えている昨今の入試では、そうした受験の鉄則を用いて問題を解いても時間が足りない！となると鍛えるべきは「文章を読むスピード」です。そういう結論になると思います。さて、弊社では全教室に速読ICT教材TERRACE（テラス）を導入しています。（利用にあたり、追加料金は一切いただいておりません。）文章を読む速度を上げたい。文章処理能力を高めたい。ご興味がおありでしたら、各教室長へお気軽にお問い合わせください！はっきり言って、おススメです。

株式会社 情熱空間
代表取締役 三木 克敏